

自由記述欄

私は新聞紙にはいろいろな工夫がされているんだと知りました。SWTHを意識して記事を作るといふことが分かりました。正確に記事の完成させるためには具体的に、主語と述語を近づけることで正確さがより増して豊かさを求めるためにディテールを書いたりして前文を簡単にすることでより豊かさが増えるのだと知りました。速報でニュースが入ったりしてときよしめ切り10分前でも1分前でも出来上がった記事を少し削りて入れたりするのがとても驚きました。自分が気になる記事を選ぶと主語に思ったことは文章よりも多くの文字で書かれている見出しを見てどの記事を読みたいのかを選んだので見出しが非常に重要な役割をしているんだと知りました。この授業を通じて感じたことは新聞紙、最近読者が減っているけどネットニュースでも最新の記事も載っているし、簡潔で分かりやすい文なのでこれから新聞紙を読みたいと思いました。

自由記述欄

ニュースはいつもSNSやテレビで見ているけれど、SNSだと本当のことなのか、テレビのものなのか分からないことがあるので新聞では正確な情報を知ることができてくれるのでいいなと思います。

また、新聞の見出しに注目してことばなのか、見ただけで本文の内容がわかるように簡潔にまとめられているのがいいと思います。見出しと本文の要約文章をよむと読み取っても、世の中の大きな流れが分かることも知れます。

新聞は自分の興味がない記事にもひと通り目を通すことができてくれるので、これからは積極的に新聞を読みたいと思います。

自由記述欄

113人のネットユーザー, 113人の芸能ユーザー

新記書 目指す理由, 一般人に伝えたいと思ったから 読者のために

ネット時代 ^今 正しい情報を読み取ることが大切 → 死んでしまう

最新のユーザー

SNSの記事の違三角形

見出し, 前文 → 要約, 要約 → 結論 → 本文

取材と記事を書くときの基本 5W1H ^{何, どこ, 誰, 何, いつ, どうして}

正確: 具体的に書く, 主語と述語を近づける → 不自然な表現を避ける

豊: テキスト (情景, 身ぶり, 雰囲気) を書く

手紙 大事なのは365日書く (三角形), 前文に5W1H

かえり

実際に新聞記者さんの話を聞いて、改めて「情報」に好む方向性があることを改めて考えた。現在、インターネットやスマートフォンが普及し、情報化が進んだ世界では「正しい情報を読み取る」ことが大切だということを知った。インターネット、SNS上には様々な情報が溢れている。命に関わる問題に巻き込まれて驚いた。実際に、私もSNSを使う機会が多くなり、その情報に振り回されるようになったことがある。改めて目を叩くように考えた。私は、自身、新聞に苦手意識があり、情報を紙から読みとることが好きではなかった。「見出しだけ読んでいいから、さうと目を叩いて」という記者さんの話を聞いて、新聞の見出しに目を叩く以外におもしろく、新聞に又好き意識が良くなるものに変化した。今回の講演会を通じて、改めて、情報、新聞としっかり向き合いたいと思う。

自由記述欄

僕に今日の授業で新聞についていることを学べた。
その中でも印象に残ったことは二つありま
一つ目は新聞の執筆者の正石さんです 神戸新聞社の方から
今日の本授業で新聞に出ていた情報は事実と裏づけされて
いると聞いてこのことを知りました。僕は今まで時事など
について言聞する時はネットなどで言聞していましたか
これからは新聞で言聞していましたか。新聞で言聞する
のもいいなと思いました。二つ目は、作っている人の情熱
です。今回最新の情報やニュースが入ってきたら毎日の
直前でもその記事に少しも入れるということを知ってプロ
意識だと思いました。今回は本当にありがとうございました。

自由記述欄

ネットニュースはだいたい新聞記事からのものが多い。

新聞のだいたいは「逆三角形」でかかっている。

5W1Hがニュースの基本!!

↳ what, when, where, who, why, How の6つ。

正確さ → 具体的にかく、主語と述語を近づける。

新聞の特長 ① 一貫性 ② 網羅性 ③ 信頼性 ④ 保存性

ニュースを疑う「X-ファイル」もとても大切!!

アタマ・カタ・ハリ という3つの部分に分かれてレイアウトしていく。

「神戸新聞社さまの講演会を通して」

私は今回の神戸新聞社さまの講演会を通して、新聞を読む機会が増えるいいタイミングだ。たと改めて感じました。普段はスマホなどで情報を得るのがほとんどで新聞を読む人はあまり見られなくなっているのが現状です。

しかし、スマホで情報を得る場合はどれも信頼できるサイトの見極める必要があります。能登半島地震ではウソの情報がネットに広がり、人々に不安を抱かせるというできごともありました。また、今回配られた新聞の中の記事に著名人をFとして広告を作成して、多くの人をだましたというニュースを見ました。このFは事例が最近増えていることを知ってとても心が傷付きました。

そうならはいためにも、今回の講演会を通して新聞を読む機会を増やしていきたいと思います。改めて、このFは講演会をしてくださりありがとうございます。ありがとうございました。

自由記述欄

今回の講義では新聞の構成や特長などを学ぶ事になりました。私はSWIHを入れるか主語と述語を近づけるなどの事をして書くこと聞き驚きました。なぜなら、新聞はこみだけの文字量があるのにA5まで丁寧に書いてゐることを知ったからです。

私の家では普段、新聞をほとんどなく割り興味のない物でした。しかし、今回の講義で神戸新聞の朝刊を読んだ時の癖から自分のおもしろいと思ったニュースを読むための体にも興味が増えました。さらに今日、新聞について教えてもらい新聞を読もうと思いました。少ない時間でしたが、いい経験ができてよかったです。

自由記述欄

私はこの機会に新聞の魅力を改めて感じる事ができました。
中学生のとき、新聞を読む人が減少しているという事を知りました。
私も実際、新聞を読む機会があまりなく日常生活の中で
目にしない事が多くなっていました。ですが、今回新聞の事を
くわしく知ると本当に魅力的で日常生活でとても役立つ
存在だと改めて感じました。

自由記述欄

4/26 新聞の三好さん

、弱い人の味方、世の中、有名人に会えると思ったから 同じニュースでも、社によって

「アサヒ」は新聞：「アサヒ」は「アサヒ」(マサヒ)に会えた) それぞれの立場

、情報が大車(おさわめろのが) 見出し 前文が「でもお人様」=中身がわかる

、見出しは究極の要約 結論→中身 ▽ 逆三角の形で書く = 締め切りギリギリの記事

、5W 1H が大切 正確に → 具体的、主語述語を近づける (速報も他をけず、ていねい)

豊かに → 情景、修飾語が加わる

、トマゴ、カク、ハク 興味なくとも みてみよう → それがいい! (新しい出会い)

、1日5分ちいさな お返した5分 しゃべり、おしゃべり、おしゃべり → 目的意識を大切に

今日の産社の授業を通して、私は「5W1H」の大切さと情報を正しく読みとることの大切さを学びました。今の時代、SNSと隣合わせの社会でニュースを簡単に見ることが出来る時代です。例えば、地震が起こったというニュースが入ってきたとします。そのときに、いつ(when) 何処(what) どこで(Where) なぜ(Why) { 誰が(who) } どのように(How) がしっかりと書いてあると、おおまかな情報よりも信じることができ、とても正確に伝わります。すぐにニュースが伝達されることばかりもいいことですが、悪い影響もあります。それがフェイクニュースです。それが原因で店が潰れることだってあります。トイレットペーパーの買い占めもそれが原因でした。

今の時代には、正しい情報を読みとることがとても重要だと考えられます。

今回の授業は、今を生きる私たちにとってとてもためになる授業でした。

産社の授業の感想

自由記述欄

4/26(金)

僕は、今日の授業を通して日常生活の中で当たり前のように多くの人に読まれていた新聞には、多くの工夫と大切な情報が詰まっていたということに改めて気付きました。僕は、現代の世界ではスマートフォンなどを用いて多くの人が情報を得ているけど、三好先生の発言にあるようにインターネットを使って情報を得ることで、好きな内容・自分に合った内容の情報を入手する機会が多くなり、得る情報に情報を得た人達それぞれの偏りが生じてしまうので、スマートフォンなどを用いて情報を得ることは、簡単な事ではあるが、あまり自分に良くないと思います。私は、両親が新聞を日常生活の中で読んでいたので、勉強の間に積極的に読む、自分で自分に必要な情報を探訪、そして得た情報を活用していく力を身につけてい

自由記述欄 ニュースの基本 ↓

「When」「Where」「Why」「Who」「What」「How」

5W1H

ニュースの書きかたに

正確さ → 具体的に書く、主語と述語を近づける

豊かさ → デTAIL (情景 身ぶり 雰囲気)

見出しを具体的に!!

ex) にくたん → 30匹

☆ 新聞の特長

一覧性 信頼性 保存性

<感想>

私がこの授業で学んだことは、はじめに文章を作る過程を作るほどの計画性が大切であるということです。私自身、これまで計画をたてるという作業が苦手で、始めに自分の意見ばかり書いてしまい、また、文章を書くことができませんでした。ですが今回の授業により、今まで、またありのある文章を書くことができた原因を突き止めることができたので、今回の授業を生かし、今後は計画性を大切にして文章を構造していきたいです。本当に良い経験になりましたので、友が丘高校にお礼を込めて、記者さんには感謝いたします。

ゆき